

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

4年8月29日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社明興建設
所在地	熊本県熊本市西区春日5丁目1-2
代表者役職・氏名	代表取締役・田中秀征
担当者連絡先	電話：096-327-2121 (担当：坂田)
	メール： sakata@meikou-con.co.jp
ウェブサイトURL	http://www.meikou-con.net/

2. 港湾関係企業等としての事業の概要


















<p>弊社は1963年に創業した総合建設業者であり、熊本県の港湾を中心として浚渫工事、埋立工事、地盤改良工事の請負事業を実施している。</p>

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標
✓環境 ✓社会 ✓経済	港湾工事による港の維持管理、安全確保	熊本港防波堤作成。地盤改良等による維持管理の推進。(年間工事1件以上)
□環境 ✓社会 ✓経済	県内新卒採用を積極的に行い地域の雇用維持を図る。	毎年1人以上の採用。
□環境 □社会 □経済		

SDGs達成に向けた具体的な取組

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	雇用、昇進、福利厚生など、雇用条件及び職場環境において差別しない体制を徹底している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7	
	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨就業規則に明記している。					5.1 5.2 5.5				8.5 8.8							16.1	
	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	現場繁忙期以外は定時退社を徹底している。									8.5 8.8								
	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						
	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	入社時に労働衛生安全講習会の受講を実施している。			3						8								
	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる				3														
	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	業務運営、昇進、昇給、昇格について人種性別等による差別的待遇はない。					5.1 5.5				8.5		10.2 10.3						
	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	各種勉強会への参加を推奨している。				4	5.5				8	9							
	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	従業員の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3						
	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	健康診断補助をしている。本社にてジムを併設し心身の健康維持に努めるよう態勢を整えている。			3						8								
環境	【3Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3R(リデュース、リユース、リサイクル)の推進に取り組んでいる	港湾工事における産業廃棄物を適切に処理している。											11.6	12.4 12.5		14.1			
	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	電気料金通知書、ガソリン購入領収書により電気及び社用車のガソリン利用料を把握しその削減に取り組んでいる。								7.3					13				
	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている									7.2 7.3				12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9				6.3					11.6	12.4				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	工事施工の際現場近辺の生態環境(海苔栽培等)に悪影響を及ぼさないよう考慮している。						6.6								15			
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	節水や汚水等の適切な処理を実施している。						6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している	会員企業にてISO9001を取得している。			3.9			6	7				12	13.3	14	15			
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している											12.6							
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる							7.2						13					
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる											12.2	13	14	15				
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO品質管理マニュアルを制定し社内にて製品の品質管理を徹底している。			3.9							12.4							
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している									9									
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる							6				12	13	14	15				
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9	11	12		14	15		17	
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	白川、緑川、あり庄壊での清掃活動がある際従業員参加にて行っている。				4						11			14	15		17	
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している									8	9	11	12	13					

カテゴリ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	【内部管理体制】 ・SDGsの達成に向けた経営理念及び経営目標を社内で共有している									8	9							17	
29	【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	法令順守について通達により従業員に周知し管理徹底している。																16	
30	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	自社の活動により社会インフラを整え地域住民の暮らしの役に立てよう心掛けている。																16	
31	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	熊本県土木部及び熊本港湾・空港整備事務所と積極的に意見交換を行い適切に対応している。															16	17	
32	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	ISOマニュアルにて制定している。																16	
33	【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	16	
34	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している										9		11					16	
35	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	後継者の指導育成に積極的に取り組んでいる。								8	9							17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】

- 各カテゴリ毎に少なくとも1つ以上の項目に「具体的な取組」を記載して下さい。
- 今回の申請に合わせて、今後取り組む予定のものについても「具体的な取組」として記載頂くことが可能ですので、積極的に記載して下さい。
- なお、今後取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載して下さい。
- 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載して下さい。
- 取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載して下さい。
- 「主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目」はあくまでも標準的なゴールとターゲット番号を記載したものです。個別の取組に合わせて必要に応じて適宜変更して下さい。

(様式第4号)

令和5年11月7日

SDGs達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 熊本市西区春日5丁目1-2

名称： 株式会社明興建設

代表者： 田中 秀征

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	港湾工事による港の維持管理、安全確保	熊本港防波堤作成。地盤改良等による維持管理の推進。(年間工事1件以上)	令和5年度港湾工事8件受注済
□環境 ✓社会 ✓経済	県内新卒採用を積極的に行い地域の雇用維持を図る。	毎年1人以上の採用。	令和6年度熊本県内卒業新卒を1人採用予定。
□環境 □社会 □経済			

(様式第4号)

令和 6年8月 28日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地： 熊本市西区春日5丁目1-2

名称： 株式会社明興建設

代表者： 田中 秀征

登録年月日： 令和4年9月21日

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第7条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 ✓経済	港湾工事による港の維持管理、安全確保	熊本港防波堤作成。地盤改良等による維持管理の推進。(年間工事1件以上)	令和6年度港湾工事6件受注済 (8月28日現在)
□環境 ✓社会 ✓経済	県内新卒採用を積極的に行い地域の雇用維持を図る。	毎年1人以上の採用。	令和6年度熊本県内卒業新卒を3人採用済。
□環境 □社会 □経済			